

学校通信

学校生活における大切なお知らせです

12
2023 DEC.
第247号

学校長からのメッセージ

文部科学省の「高等学校教育の在り方ワーキンググループ（WG）」会議が毎月、東京で行われています。“どのような高校を作っていくか”が主としたテーマで、私もメンバーとして4年前から出席しています。協議中は「これで今苦しんでいる生徒たちが救われるのだろうか？」「足りないものはないだろうか？」と、そんな視点で意見を述べて来ました。

この度、このWGから中間発表の形で省令案がまとめられました。その中の不登校生に関する項では、オンデマンド※①での単位修得も一部可能とされます。これは、現在、全日制や定時制課程の不登校生徒にとって、高校卒業の可能性が広がり、次のステップへの希望が持てるでしょう。

しかしながら、それ以前の問題、つまり不登校生になる前に、「そうならない」ために学校に何が出来るのかを考えることも大切でしょう。私はその一つに、教員の意識を変える必要性を感じています。「魅力ある授業づくり」はもちろんのことですが、威圧的に話さない、優しく温かい声掛けをする。それだけでも生徒たちにとっては“学校が安心できる場”になっていくきっかけになると思います。生徒たちが辛いのは身の置き場のない時間と空間。つまり、休み時間が安心して過ごせる空間であること。教職員がそのような雰囲気を醸し出し、学校が居場所になることが大切だと思います。

先日、教育月刊誌：教育PRO※②に大阪府内の通信制高校が特集されました。また私と梶田叡一先生（元兵庫教育大学学長）との座談や本校の記事はHP※③に載せていますので是非ご覧ください。

まもなくクリスマス。神様がイエス様をこの世に送り出してくださった嬉しいこの時期に、WGの省令案は朗報です。しかしながら、私たちは卒業だけではなく、もっと先の未来を生き生きと暮らせる力をつけてほしい。そのために惜しみなく尽くしたいと思います。

(校長 鍛治田 千文)

※① オンデマンド学習：インターネットを利用して映像や音声から学ぶ授業

※② 教育PRO：第53巻10月31日号

※③ <https://www.ymcagakuin.ac.jp/information/pro.html>

「いと高きところでは、神に栄光があるように、地の上では、み心にかなう人々に平和があるように」

(ルカによる福音書2章14節)

学校法人 大阪YMCA

YMCA 学院高等学校

〒543-0073 大阪市天王寺区生玉寺町1-3

TEL 06-6779-5690 FAX 06-6779-1831



こちらから大阪YMCAの機関紙「大阪青年」にアクセスできます



今月の聖句

「天使たちが離れて天に去ったとき、羊飼いたちは、『さあ、ベツレヘムへ行こう。主が知らせてくださったその出来事を見ようではないか』』と話し合った。

(ルカによる福音書 2章 15節)

クリスマスおめでとうございます。

2023 年前、ベツレヘムという町（現在のイスラエル）の馬小屋の中でイエス様がお生まれになりました。その誕生を誰よりも一番に知ったのは羊飼いたちでした。当時、羊飼いは暮らしが貧しいだけでなく、身分的に最も低い職業のうちの一つでした。その羊飼いたちのもとに天使が現れて、イエス様の誕生を一番に知らせました。クリスマスはこの地上に神様がイエス様を与えてくださった大きな出来事ですが、王様や博士たちといった身分の高い人や他の誰でもなく、「一番弱い存在」であった羊飼いにそのことが最初に知らされたことに、とても大きな意味があると思います。

マルコによる福音書 3 章に、イエス様が手の不自由な人と出会う箇所があります。イエス様はその人に「真ん中に立ちなさい」と言われました。他の人よりも弱い立場の人こそ「真ん中に立つ」ことが大切だと聖書は伝えています。YMCA に集う人の中にも、今まで目立つような存在ではなかった人、他の人よりもいろんなことで弱さを感じている人がいると思います。そういう人こそ、安心して「真ん中」に立てるような YMCA でありたいと考えています。

(校長代理 小林 直樹)

